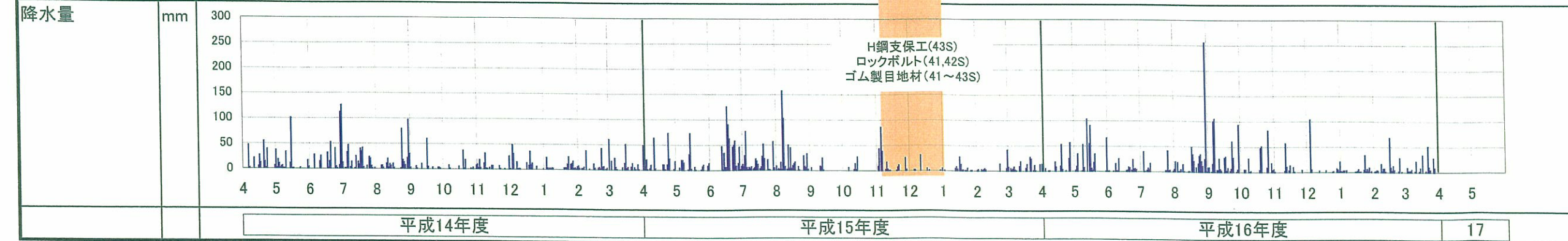
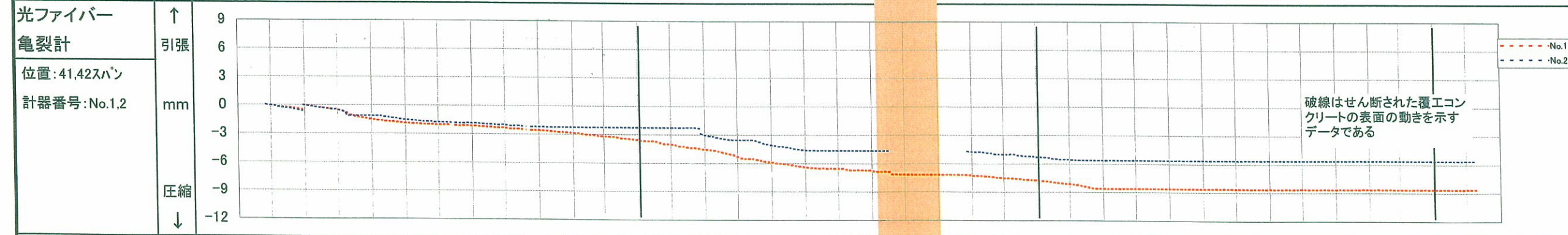
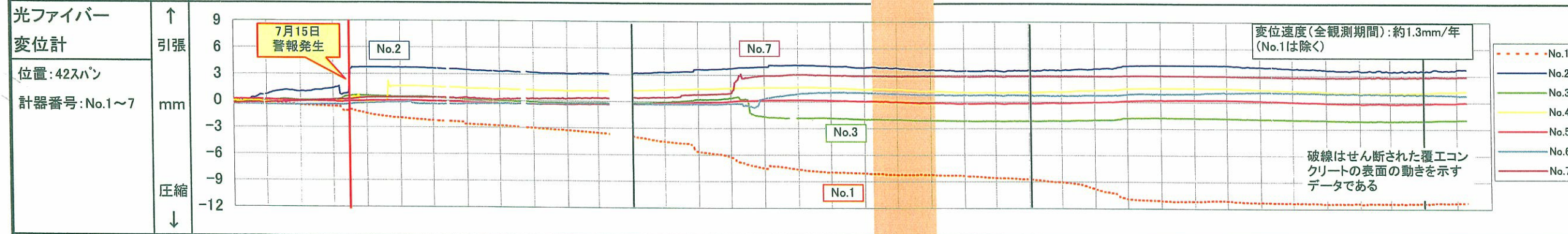
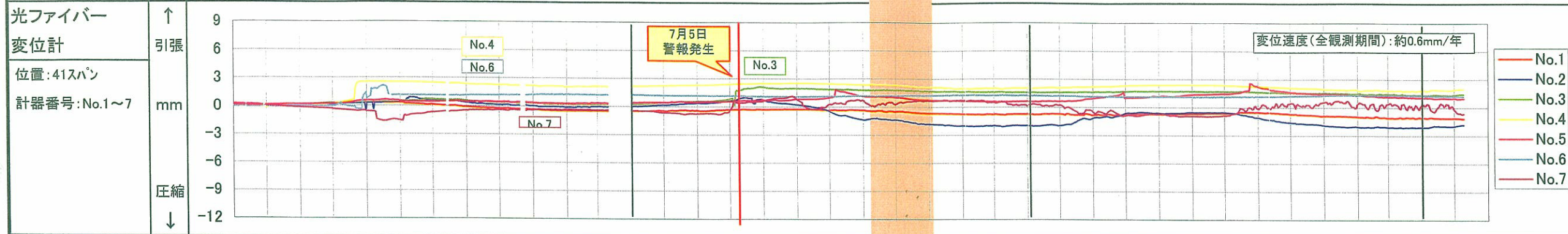
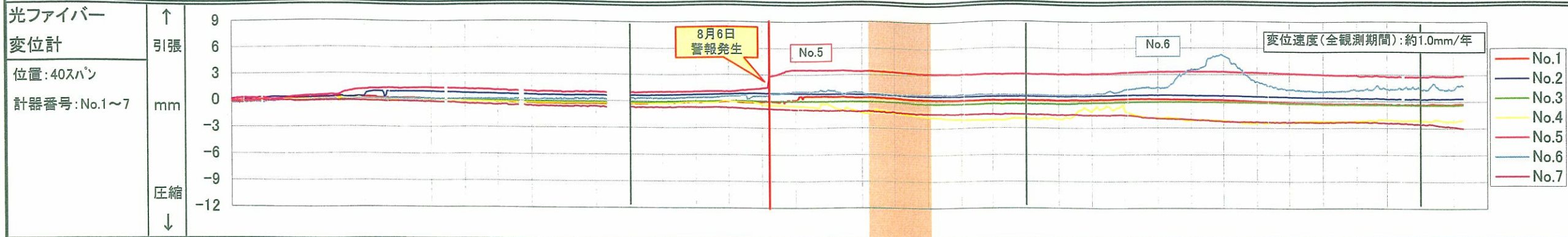


トンネル内計器変動一覧表(1)

変動の状況



・光ファイバー変位計、亀裂計の変位量は、破線で示した計器を除き、3.0mm/年以下の変位量である。

・破線で示した計器の変位量は、他の計器よりも大きい値を示す。これは、せん断された覆工コンクリートの表面の動きによるものである。

・せん断された覆工コンクリートが変位すると、コンクリートはH鋼支保工や金網に接触し変位が抑止される。従って光ファイバー変位計42スパンNo.1や、光ファイバー亀裂計の平成16年度のデータが示すように、計器の変位量は小さくなる。

・監視システムにて警報が3回発生している。監視システムにて検出された変位は、覆工コンクリートの局所的な変位である。このような変位に対し、監視システムは正常に検出し、作動している。

光ファイバー変位計  
警報の発生基準値  
①0.5mm/1分  
②1.0mm/1時間  
①、②のいずれかに該当した場合に警報が発生する

平成14年度

平成15年度

平成16年度

17